

但馬(円山川等)地域総合治水推進計画

先導的取組について

但馬地域における先導的取組



但馬地域における総合治水の先導的取組(1/2)

地 域	取組内容	対策区分	取組主体
豊岡市	1) 県営住宅(豊岡一本松)駐車場における雨水貯留	流 域	県
	2) 竹野川における霞堤保全	流 域	県(河川管理者) 県 民
	3) 校園庭における芝生化	流 域	豊岡市
	4) 簡易雨量計の配布	減災(ソフト)	豊岡市
	5) 箇所別土砂災害危険度予測システムの構築	減災(ソフト)	県、豊岡市
	6) 避難行動指針の作成	減災(ソフト)	豊岡市
	7) まるごとまちごとハザードマップ	減災(ソフト)	国、豊岡市、県
	8) 市道アンダーパス部の冠水情報表示板の設置	減災(ソフト)	豊岡市
	9) 避難場所表示、避難誘導表示	減災(ソフト)	豊岡市
養父市	3) 校園庭における芝生化	流 域	養父市
	4) 簡易雨量計の配布	減災(ソフト)	養父市
	10) 現地連絡員(スポッター)の配置	減災(ソフト)	養父市 県 民
	11) ケーブルテレビでの河川監視カメラ情報の配信	減災(ソフト)	養父市

但馬地域における先導的取組

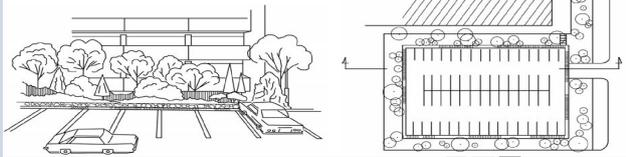
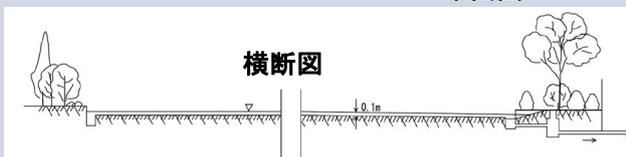


但馬地域における総合治水の先導的取組(2/2)

地域	取組内容	対策区分	取組主体
朝来市	5) 箇所別土砂災害危険度予測システムの構築	減災(ソフト)	県、朝来市
	12) 与布土ダム事前放流の検討	流域	県(河川管理者) 朝来市
	13) 朝来市管理の公共施設での透水性舗装	流域	朝来市
	14) 立ノ原ポンプ場の運転調整	流域	朝来市
香美町	15) 矢田川における越流堤保全	流域	県(河川管理者) 県民
	16) 町独自の河川水位表示板の設置	減災(ソフト)	香美町
新温泉町	17) ケーブルテレビでの河川監視カメラ情報の配信	減災(ソフト)	新温泉町
	18) 浸水実績表示板の設置	減災(ソフト)	新温泉町
	19) 津波避難ジオラマ模型展示	減災(ソフト)	県民
全域	20) せき板設置による水田貯留	流域	県、市町、県民
	21) 積極的な森林の整備・保全	流域	県、市町
	22) 歩道の透水性舗装	流域	県
	23) きめ細かな避難訓練	減災(ソフト)	市町、県民
	24) 自主防災マップの作成	減災(ソフト)	市町、県民
	25) 防災出前講座	減災(ソフト)	県、市町
	26) ハザードマップの更新	減災(ソフト)	市町

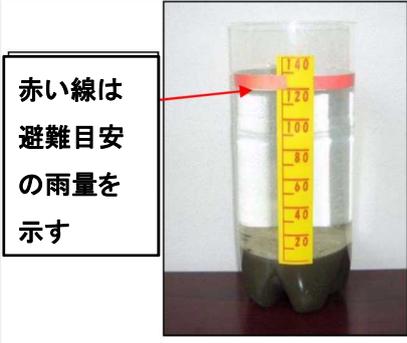
但馬地域における先導的取組(豊岡市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
豊岡市	1) 県営住宅(豊岡一本松)駐車場における雨水貯留  平面図  横断面図	流域	県
	2) 竹野川における霞堤保全  洪水時には開口部から堤内地へ遊水させる 霞堤 竹野川	流域	県(河川管理者) 県民

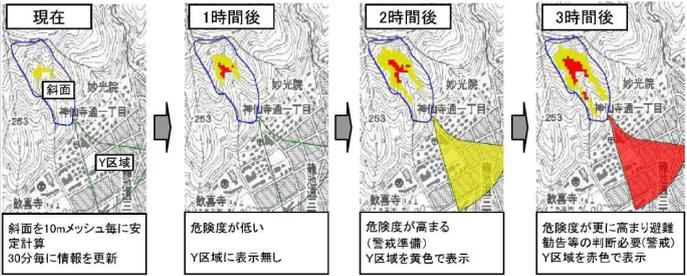
但馬地域における先導的取組(豊岡市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
豊岡市	3) 校園庭における芝生化 	流域	豊岡市
	4) 簡易雨量計の配布  <p>赤い線は避難目安の雨量を示す</p>	減災(ソフト)	豊岡市

但馬地域における先導的取組(豊岡市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
豊岡市	5) 箇所別土砂災害危険度予測システムの構築  <p>箇所別土砂災害危険度予測システムによる危険度の表示イメージ</p>	減災(ソフト)	県 豊岡市
	6) 避難行動指針の作成	減災(ソフト)	豊岡市
	7) まるごとまちごとハザードマップ 	減災(ソフト)	国 豊岡市 県

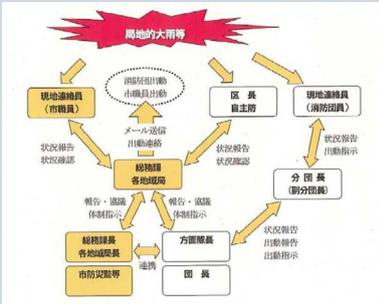
但馬地域における先導的取組(豊岡市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
豊岡市	8) 市道アンダーパス部の冠水情報表示板の設置  市道アンダーパス部の水位表示板  冠水情報板	減災 (ソフト)	豊岡市
	9) 避難場所表示、避難誘導表示  避難場所表示  避難誘導表示	減災 (ソフト)	豊岡市

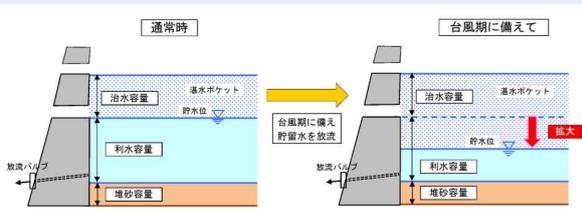
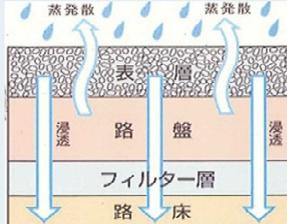
但馬地域における先導的取組(養父市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
養父市	3) 校園庭における芝生化	流域	養父市
	4) 簡易雨量計の配布  雨量計	減災 (ソフト)	養父市 県民
	10) 現地連絡員(スポッター)の配置   八木川(養父市役所前) 	減災 (ソフト)	養父市

但馬地域における先導的取組(朝来市域)



地域	取組内容	区分	取組主体
朝来市	5) 箇所別土砂災害危険度予測システムの構築 12) 与布土ダム事前放流の検討	減災(ソフト)	県、朝来市
	 <p>ダムの事前放流のイメージ</p>	流域	県(河川管理者) 朝来市
	13) 朝来市管理の公共施設での透水性舗装	 <p>透水性舗装のイメージ</p>	流域
14) 立ノ原ポンプ場の運転調整	 <p>立ノ原ポンプ場の完成イメージ</p>	流域	朝来市

但馬地域における先導的取組(香美町域)



地域	取組内容	区分	取組主体
香美町	15) 矢田川における越流堤保全 洪水時には越流堤から堤内地(農地)へ遊水させる 越流堤の区間が低くなっている	流域	県(河川管理者) 県民
	16) 町独自の河川水位表示板の設置		減災(ソフト)

但馬地域における先導的取組(新温泉町域)



地域	取組内容	区分	取組主体
新温泉町	17) ケーブルテレビでの河川監視カメラ情報の配信 	減災 (ソフト)	新温泉町
	18) 浸水実績表示板の設置 (保健センター側) (浜坂病院玄関) 	減災 (ソフト)	新温泉町
	19) 津波避難ジオラマ模型展示  ジオラマ模型	減災 (ソフト)	県民

但馬地域における先導的取組(全域)



地域	取組内容	区分	取組主体
全域	20) せき板設置による水田貯留  水田の排水口において「せき板」を設置する様子	流域	県、市町、県民
	21) 積極的な森林の整備・保全  【豊岡市但東町大河内 緊急防災林の整備 (間伐木土留工)】	流域	県、市町
	22) 歩道の透水性舗装	流域	県

但馬地域における先導的取組(全域)



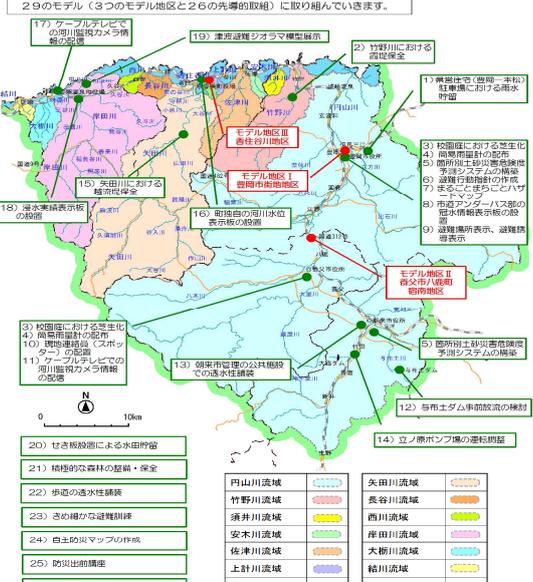
地域	取組内容	区分	取組主体
全域	23) きめ細かな避難訓練 	減災 (ソフト)	市町、県民
	24) 自主防災マップの作成 	減災 (ソフト)	市町、県民
	25) 防災出前講座 	減災 (ソフト)	県、市町
	26) ハザードマップの更新	減災 (ソフト)	市町

但馬地域総合治水取組みマップ



但馬地域総合治水モデル地区・先導的取組マップ — “日々の備え” で、みんなで守ろう命と生活 —

29のモデル(3つのモデル地区と26の先導的取組)に取り組んでいます。



29のモデル(3つのモデル地区と26の先導的取組)

- 1) ケーブルテレビでの河川監視カメラ情報伝達
- 2) 竹野川における防災安全
- 3) 校園に於ける防災化
- 4) 防災意識の啓発
- 5) 避難誘導表示の設置
- 6) 避難経路の作成
- 7) 防災マップの作成
- 8) 防災マップの活用
- 9) 避難場所表示、避難誘導表示
- 10) 防災意識の啓発
- 11) ケーブルテレビでの河川監視カメラ情報伝達
- 12) 立ノ瀬ポンプ場の運転調整
- 13) 朝来中管理の公民館での治水訓練
- 14) 立ノ瀬ポンプ場の運転調整
- 15) 矢野川における治水訓練
- 16) 朝来川の河川水位表示の設置
- 17) 防災意識の啓発
- 18) 治水訓練表示の設置
- 19) 治水訓練シラカバ橋の設置
- 20) せき調整による水田貯留
- 21) 植栽的な森林の整備・保全
- 22) 歩道の治水性舗装
- 23) きめ細かな避難訓練
- 24) 自主防災マップの作成
- 25) 防災出前講座
- 26) ハザードマップの更新

但馬地域の地勢
【人口】 約 17 万 6 千人 (2010 (平成 22) 年国勢調査による)
【面積】 総面積 2,023km²
【河川】 一般水系 但山川 (1 水系)
二級河川 竹野川、須井川、安木川、佐津川、上計川、香住谷川、矢野川、長谷川、西川、岸田川、大瀬川、結川 (12 水系)

但馬地域における過去の主な水害
○1934 (昭和 9) 年 9 月洪水 (伊勢湾台風) : 豊岡市街地の 8 割以上浸水、岸田川、出石川、矢野川等で、豊岡市街地でも広い範囲で浸水。
○1961 (昭和 36) 年 9 月洪水 (第 2 室戸台風) : 高津で岸田川が氾濫、岸田川・矢野川・竹野川に連続的な浸水が流出、豊岡市街地でも広い範囲で浸水。
○1972 (昭和 47) 年 7 月洪水 (梅雨前線及び台風 6 号) : 但山川流域、浸水家数 749 戸、浸水面積 1,715ha。
○1990 (平成 2) 年 9 月洪水 (台風 19 号) : 但馬全域の当時の総人口の約 1 割の 4,400 世帯、約 2 万人が避難。公立浜城小学校が土砂崩れで崩壊により倒立、但山川流域で、浸水家数 2,212 戸、浸水面積 1,923ha、香住谷川流域、浸水家数 348 戸、岸田川流域、浸水面積 222,000ha、浸水家数 451 戸 等。
○2004 (平成 16) 年 10 月洪水 (台風 23 号) : 豊岡市全域で死者 5 名、負傷者 15 名、家屋の全半壊 4,283 戸、浸水家数 7,644 戸、浸水面積 1,033ha、香住谷川流域、浸水家数 35 戸、岸田川流域、床上 38 戸、床下 12 戸 等。
○2009 (平成 21) 年 8 月洪水 (台風 9 号) : 豊岡市、半壊家数 19 棟、床上浸水 2 棟、床下浸水 66 棟、浸水戸数、床上浸水 10 棟、床下浸水 37 棟、朝来市、死者 1 名、全壊家数 9 棟、大規模半壊家数 10 棟、半壊家数 21 棟、床上浸水 61 棟、床下浸水 212 棟 等。

モデル地区Ⅰ
【概要】 行政や経済活動の中心となる但馬地域の中心地、但山川(川)の低平地に展開していることから、2004 (平成 16) 年に広範囲で床上浸水が発生。2005 (平成 17) 年 6 月、2012 (平成 24) 年 9 月には道路冠水が発生するなど浸水被害が発生。
【取組】 地下貯留施設 : 豊岡総合庁舎の駐車場地下に雨水貯留施設を設け、校庭貯留 : 豊岡総合高校のグラウンドに雨水を一時的に貯留するための小堰等を整備。
【効果】 地下貯留施設 : 豊岡総合庁舎での 2,000m³ の貯留により、1/5 標準降雨による浸水を解消できる。校庭貯留施設 : 豊岡総合高校の校庭貯留により、1/5 標準降雨に対して、浸水面積が 1.1ha から 0.2ha に低減できる。

モデル地区Ⅱ
【概要】 但山川(川)の平地に水田が広がる、山麓に住宅密集地が存在する、但馬地域の中心地における典型的な集落の一つ。2004 (平成 16) 年に、床上浸水 134 戸と大規模な洪水被害が発生。
【取組】 河川対策 : 但山川(川)からの逆流防止のための三谷川の堤防築上げ、岸田川の岸田川合流点への堤防設置。流域対策 : 各戸貯留、水田貯留、治水性舗装。減災 (ソフト) 対策 : 計画的な土地利用の検討。
【効果】 国産種の栽培事業と三谷川の改修と岸田川補正工事により、2004 (平成 16) 年実績標準降雨の洪水における浸水家数は 147 戸 (床上 : 134 戸、床下 : 13 戸) から、3 戸 (床上 : 0 戸、床下 : 3 戸) に低減。水田貯留により、2013 (平成 25) 年 7 月 14 日降雨に対して、三谷川下流左岸の農道の冠水開始時間を 4 時間遅らせることが可能。

モデル地区Ⅲ
【概要】 小(河川)の出発地モデル。【取組】 日本製紙の交通の要所。1990 (平成 2) 年の災害では、地域を担う公立児童福祉院が浸水する等、甚大な被害。2014 (平成 26) 年には、同院が避難所として活用されるも、1990 (平成 2) 年と同規模以上の洪水発生時には浸水被害を完全に防ぐことはできない状況。
【取組】 河川対策 : 香住谷川の流下能力向上のための河川改修。流域対策 : 香住谷川における施設貯留、開発指導による施設貯留、香住第一中学校に対する施設貯留、各戸貯留、水田貯留、水田貯留施設補助制度の検討。
【効果】 河川対策により、1990 (平成 2) 年 9 月実績標準降雨の洪水では、浸水面積は 46.6ha から 30.1ha となり、16.7ha (36%) 低減。水田対策と施設貯留により、1時間 50mm の標準降雨に対して、香住川(香住町)の冠水防止が可能。

3箇所のモデル地区と 26種の先導的取組を記載した 但馬地域総合治水取組みマップ